

**問** スタートして1カ月、幼稚園給食の現状を問う  
宮田公人 議員

**答** 総じて好評である

このたび、教育長の英断により、幼稚園給食がスタートした。まだ、スタートして1カ月ではあるが、現時点での保護者・園児・現場の先生方の状況はどうか。

**教育長** 連休明けから津川、巨瀬、中井、松原、福地、5園で給食の試行

を始めた。教育委員の視察で5月25日に松原幼稚園に行つた。子どもたちは給食を喜んで食べており、大変楽しみにしている様子だった。

保護者からは、「温かく栄養のバランスのある食事ができてありがたい」「朝弁当をつくる回数が減つたので、非常に朝の時間に余裕ができた」という意見が寄せられている。

な食材に触れること、そして食に興味を持つ非常にいい機会になつている。また、準備・片づけなど当番活動等をする中で、子どもたちの自主性も育つてきているとの報告がある。総じて教育委員会の実施目的も達成できており好評である。

**宮田** 現時点で物理的な問題、人的な課題はないか。

**教育長** 幼稚園によっては段差により給食を運びにくい所もある。また、

人員については、子どもの世話もしながら、準備や片づけ等があり、預かり保育職員の勤務時間を増やして対応している。一方、給食を提供する給食センターでは、食材の大きさ、あるいは味つけ、固さ、さらにアレルギー対応の必要な園児もおり、少し調理員に負担がかかっている。



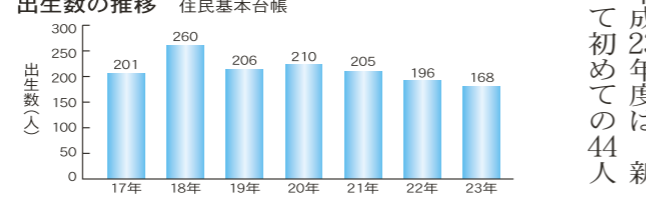
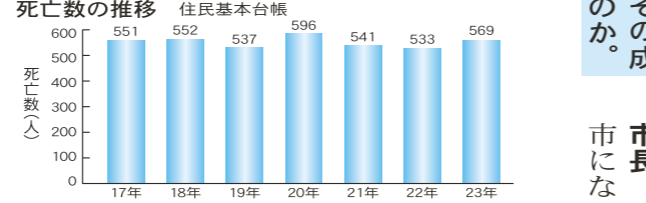
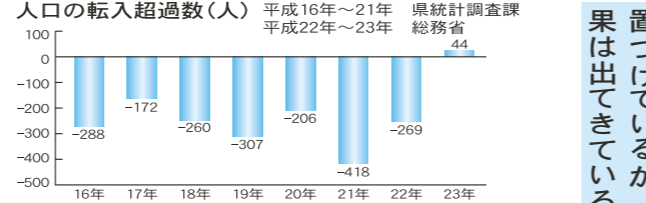
**問** 人口減少と財政への影響について  
宮田好夫 議員

**答** 初めての44人の転入超過となった

**宮田** 合併以降、人口減少が進んでいる。このことによる財政上の影響はどのように分析しているのか。

**総務部長** 国勢調査の人口は国が交付税を算定する上で重要な基準となる。本市の場合、前回の調査結果よりも3836人の人口減少となり交付税の減少額は2億5200万円となる。

**宮田** 人口減少対策として定住促進・子育て支援などを重点施策として位



**市長** 平成23年度は、新市になって初めての44人の転入超過となり、一定の成果が出ていると考えられる。

**宮田** 昨年は、台風が直撃し多くの災害が発生した。水害に備えるため、水防訓練などの計画はあるのか。また、土のう袋などの準備は万全か、町内会に配布してほしいという声も聞くが対応は可能か。

**消防長** 9月2日に玉川町で水防訓練を行う予定である。土のう袋は、地域局や市民センターを中

心に備蓄している。町内会などから配布要望があれば、消防団に連絡願いたい。

**宮田** 高齢者世帯や要介護者、障害者など、災害時に1人で避難が難しい住民を把握し、避難支援を行う災害時要援護者名簿の整備状況はどうか。

**市民生活部長** 現在、民生委員を中心に取り組みを進めているところである。

**問** なぜ今都市ビジョンなのか  
田島 肇 議員

**答** 総合計画のローリングの中で検討していく

**高梁市都市ビジョン(街なか編)について**  
**田島** 街なか生活コアエリアは駅前・市役所・栄町通りに集中しているが、駅前大通りより南方面には公共施設も点在し、近年は新たな大型店舗が展開されている。現在の道路事情は一方通行により分断されており、市内全域の市民が日々利用する南地区には、なぜ目を向けないのか。

**市長** 今回の都市ビジョンについては、現在の総

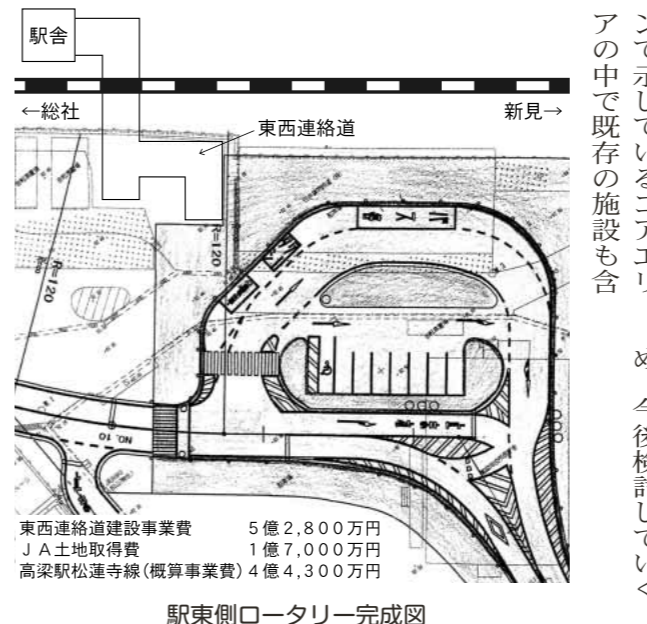
合計画に基づいて策定した。**副市長** 南の道路整備については毎年ローリングを行っている中で検討していく。

**田島** 駅前をもてなし交流の拠点と位置づけ、駅バリアフリー化と駅前整備(ロータリー化)をセットで行うというが、駅東には長期にわたり多額の予算が投入されており、平成26年にはロータリーが完成する予定である。高梁駅の持つ風情と

文化を残しつつ、駅東西の役割を検討すべきではないか。  
**市長** 駅前にあつては、交通結節機能と同時に交流機能も担っている。あつて便利なもの、必要なものについてはバスセンターも含め整備を行う。

**田島** 学びと文化のまち形成の重点プロジェクトの中、新図書館の建設を進めるとあるが、箱物行政に終止符を打つべきではないか。

**市長** 今回、都市ビジョ

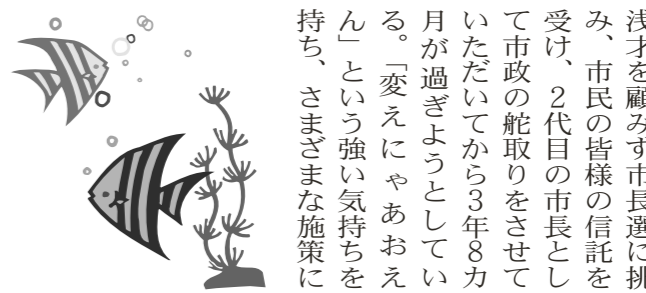


**問** 市長選挙出馬の意志を問う  
細川繁信 議員

**答** 高梁の発展に全力で取り組んでいく

**近藤市長の市長選2期目への出馬の意思を問う**  
**細川** 年度の半ばとなる10月には、近藤市長1期目の任期満了を迎えることとなる。4年前の9月「このままじゃあ、どげえにもならん高梁になつてしまふ」と市長選に挑んで当選を果たされた。10月から引き続き市政を担われる意志がおりなのか、明快にお答えいただきたい。

**市長** 「高梁を変えよう」という痛切なる思いから



浅才を顧みず市長選に挑み、市民の皆様の信託を受け、2代目の市長として市政の舵取りをさせていたいただいてから3年8カ月が過ぎようとしている。「変えにゃあおえん」という強い気持ちを持ち、さまざまな施策に取り組んでいく。

**細川** 長年の懸案である高梁駅のバリアフリー化と駅前整備については、

取り組んできた。成し得なかつたもの、新たに課題として課せられたものも多くある。今日まで市政運営を支えていただいた議会や市民の皆様に向けて感謝を申し上げ、9月30日投票の市長選において引き続き皆様の信託をいただけるならば、大好きなこのまち高梁の発展に全力で取り組んでいく覚悟だ。

**市長** これまで子ども医療費の18歳までの無料化、歴史まちづくりの計画に基づく交流等の施策の展開、若者世帯向けの市営住宅の整備などに取り組んできた。JR備中高梁駅のバリアフリー化は喫緊の課題であると強く認識しており、現駅舎の風情を残すことの検討の余地は残しつつも、誰

もが使いやすい都市機能、ユニバーサルデザインを考えた整備は必ず必要である。財源等の問題を考えても備中高梁駅のバリアフリー化と周辺整備、庁舎については今が最後のチャンスでもあり、不転の覚悟で取り組んでいく。高梁の持つ優位性を発揮させ、誰もが「住みたい、住み続けたいこの街で」と言っていただけの高梁づくりの先頭に立たせていただく覚悟だ。

め、今後検討していく。